

保護者の方と一緒に読みましょう

ほけんだより 特集:冬の感染症

大坂市立淀川中学校保健室 平成 29年11月21日発行

11
月

気温が下がり、空気が乾燥しているこの季節は、風邪やインフルエンザ、ノロウイルスによる感染性胃腸炎などが流行しやすい時期です。例年、インフルエンザのピークは12月から3月ですが、全国的にみると今年は9月にインフルエンザの感染者が確認されており、インフルエンザの流行が早めだとも言われています。大阪市内では、すでにインフルエンザの学級休業をする学校もでています。淀川中学校でもインフルエンザや発熱などで欠席する生徒が出始めており、油断は禁物です。体調管理にはご注意ください。

また、**インフルエンザ、感染性胃腸炎は出席停止**の対象です。症状が軽くとも、周りに感染を広げないため登校できないことが**法律で決まっています**。診断されましたら学校に連絡してください。所定の出席停止の用紙をお渡しします。

②インフルエンザについて詳しく知ろう！！

インフルエンザにはA型、B型、C型の3つの種類がありますが、主に流行を起こすのはA型とB型の2種類です。A型は特に感染力が強く、毎年大きな流行になるのが特徴です。

A型とB型の違い

	主な症状	流行しやすい時期	特徴
A型	高熱、寒気、筋肉痛、関節痛、咳、のどの痛み	12月～1月	インフルエンザ脳症や肺炎など重症化の恐れ
B型	高熱、寒気、筋肉痛、関節痛、下痢、嘔吐	1月～3月	胃腸の症状があったり、高熱が出ないことも

今シーズンは、昨年のシーズンと同様に『インフルエンザ＋感染性胃腸炎』の**ダブル感染**や、ワンシーズンにインフルエンザに2～3回連續でかかる**連続感染**や**トリプル感染**にも注意が必要とされています。

予防接種は効くの？

予防接種を受けたからといって、100%インフルエンザにかからないというわけではありませんが、発症時のつらい症状の緩和、重症化や合併症を防ぐには有効です。予防接種の効果が出るのは注射をしてから約2週間後、また、効果が続くのは5か月ほどです。今年はワクチンの供給量が例年よりも少ない見込みになっているそうです。予防接種を考えている人は、早めに医療機関に相談してください。

インフルエンザ!?

登校再開はいつになる?



原則 発症後、5日を経過し、かつ
解熱後2日を経過するまで出席停止です。

感染していても高熱が出ない場合もあるので、疑わしい症状があれば病院でみてもらいましょう。

お願い 学校で体調が悪くなった際、『実は昨日の晩から体調が悪かったけど、がまんしてきた』『家の鍵を持っていないから早退できない』などで対応に困ることがあります。登校前の健康観察や、今日の予定などの確認をお願いします。

気をつけて!! 感染性胃腸炎



主な症状

吐き気・おう吐・下痢・腹痛・発熱など。

☆感染してから症状が出るまで、1~2日の潜伏期間があります。

ここに注意!!

感染した人の便や吐いたものには

ウイルスが含まれ、他の人への感染の原因になります。



★ 予防のために

- 最も有効な対策は、石けんでの手洗いです。アルコールで消毒しても、ノロウイルスには効果がありません。
- 便やおう吐物を処理するときは、塩素系漂白剤で消毒します。
(キッチンハイター・ミルトン・キッチンキレイキレイなど)

ノロウイルスでは、感染している人の便や吐物が食品を汚染したために集団食中毒を起こすという事例が多く発生しています。給食当番にあたっている人が体調をくずしているときは担任の先生にきちんと伝えましょう。

☆感染性胃腸炎の登校基準は、『医師の許可ができるまで』です。